

計 画 書

薩摩川内都市計画道路の変更 薩摩川内市決定

都市計画道路中 3・5・36 号横馬場田崎線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・36	横馬場田崎線	薩摩川内市横馬場町字春田	薩摩川内市平佐町字北牟田	薩摩川内市平佐町字春田	約 920m	地表式	2車線	14m	JR九州新幹線と立体交差、肥薩おれんじ鉄道と立体交差、幹線街路と平面交差 3箇所	薩摩川内市横馬場町字春田地内にポンプ室を設ける
	内 訳										
			薩摩川内市横馬場町字春田	薩摩川内市平佐町一丁目	薩摩川内市平佐町一丁目	約 260m	地表式	2車線	14m	JR九州新幹線と立体交差、肥薩おれんじ鉄道と立体交差、幹線街路と平面交差 1箇所	薩摩川内市横馬場町字春田地内にポンプ室を設ける 区画整理に伴う住所変更の為、終点を平佐町字春田から平佐一丁目へ変更する
			薩摩川内市平佐町一丁目	薩摩川内市平佐町字春田	薩摩川内市平佐町字春田	約 83m	地表式	2車線	17m	幹線街路と平面交差 1箇所	
			薩摩川内市平佐町字春田	薩摩川内市平佐町字北牟田	薩摩川内市平佐町字小牟田	約 495m	地表式	2車線	14m		
		薩摩川内市平佐町字北牟田	薩摩川内市平佐町字北牟田	薩摩川内市平佐町字北牟田	約 82m	地表式	2車線	17m	幹線街路と平面交差 1箇所		

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由

薩摩川内市は、現在、40 路線を都市計画決定し、その整備を進めてきているところである。

都市計画道路 3・5・36 号横馬場田崎線は、平成 12 年に横馬場側を起点とし、延長 260m 区間を都市計画決定し、この区間については、平成 26 年に整備が完了したところであるが、本市の都市幹線道路として位置付けられている隈之城高城線との 660m 区間は未改良のままであり、道路幅員が狭く、1m 程度の片側歩道しか確保できていない状況である。そのため、朝夕の通勤時間帯や、週末の川内駅でのイベント開催時は交通渋滞が発生し、通行車両・歩行者ともに安心・安全な通行・歩行に支障が生じている状況である。

また、本路線が位置する川内駅東口地区は、平成 23 年の九州新幹線の全線開業や平成 26 年の川内駅周辺地区土地区画整理事業の完成とともに、大型マンションの建設やコンベンションセンターの進出等により、近年開発が進んでいる状況である。

「薩摩川内都市計画 都市計画区域の整備・開発及び保全の方針」では、当該地域の都市計画の目標を、「川内駅を中心とした、交通アクセス機能及び交通結節機能の向上を図り、利便性の高い交通サービスの提供に努める」と記載されている。また、「薩摩川内市都市計画マスタープラン」では、都市施設(道路・交通)の方針を、「川内駅東口においては、広域的な交流が可能となった九州新幹線の利便性を活かすため、川内駅へのアクセス道路の検討と整備推進により、交通結節機能及び利便性の向上を図ります」と記載され、川内駅東口へのアクセス道路を補助幹線道路として位置付け、今後整備する方針を定めている。

今回、本路線を補助幹線道路と位置付け、横馬場側を起点とし、終点を本市の都市幹線道路である隈之城高城線まで延伸することで、川内駅の東西方向の道路ネットワークを強化できると同時に、周辺市町および中心市街地とのアクセス機能を向上できる。また、川内駅東口周辺地区の利便性の向上、地域の活性化、通行車両・歩行者ともに安心・安全な通行・歩行を図れ、開発が進む川内駅東口へのアクセス機能を向上できる。

以上のことから、今回、本路線の都市計画決定区域を 660m 延伸し、延長 920m とする都市計画変更を行うものである。